

## 女性アスリートと指導者の性別に関する基礎的研究 —文献研究を通じて—

原京香<sup>1)</sup>、吉田重和<sup>2)</sup>

1) 新潟医療福祉大学 大学院 健康スポーツ学分野

2) 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科

【背景・目的】日本スポーツ界において、女性アスリートの数が増加し、その競技力が向上していることに比べ、女性指導者の活躍は限定的である。また研究面に目を向けると、女性アスリートや女性指導者に焦点を当てた研究は、特に国内においてその数や種類が限られている現状がある。すなわち女性アスリートを対象とした医学的・生理学的研究は増加しているものの、女性指導者を対象とした研究の蓄積は、総じて少ない。

以上を踏まえ本研究では、これまで取り上げられることの少なかったスポーツ界における女性指導者を研究対象として据える。具体的には、女性アスリートを指導する際の指導者の在り方を明らかにすることを目指し、『女性アスリートと男性指導者』の組み合わせと『女性アスリートと女性指導者』の組み合わせでは、押さえるべき指導上の観点が異なるのではないかと見立てを行う。この見立てについて、文献研究の手法をもって質的な検討を行い、コーチング実践上の課題へと繋げることを本研究の目的とする。

【方法】本研究では、論文検索サイト(J-STAGE、CiNiiおよびGoogle Scholar)において「コーチング」「女性指導者」「性差」というキーワードで検索を実行した。これらの作業により抽出された書籍・論文等について、内容に基づいて分類し、指導者の性別により押さえるべき指導上の観点が異なるかどうかについて、検討・考察を加えた。

【結果】本研究により、女性指導者を取り巻く現状の一端が明らかになった。以下、その内容を概観する。

まず、女性指導者の数や割合に言及している研究が複数見られた。たとえばアメリカにおいては、スポーツ界における女性指導者の割合が減少している。スポーツコーチングに携わる女性を除いて、ほぼすべての職業で女性の割合が増加しているにも関わらず、である<sup>1)</sup>。具体的には、1972年にアメリカの大学スポーツにおいて女性アスリートを指導するコーチは90%以上が女性であったが、タイトルIXの成立以降その割合が減少し、2006年には43%未満にまで落ち込んでいることが示されている<sup>2)</sup>。日本においても女性指導者の数や活躍は限定的であるが、そこに至る経緯は日本とアメリカで大きく異なると考えられる。

さらに、女性指導者は個人競技を指導することが多く、競技レベルが高くなるほど女性指導者の割合が低くなる<sup>3)</sup>ことや、メンター(指導者)とプロテジェ(被育成者)の

関係性は、性別と態度の類似性が高いほどメンタリング量が多くなり、性別の類似性は関係が長くなるにつれてメンタリング量が減少する<sup>2)</sup>ということも明らかになっている。

指導の対象である女性アスリートについても確認してみたい。女性アスリートの特徴は、大学生のボールゲームチーム(球技)を対象とした研究において、男性アスリートに比べて女性アスリートのチーム力尺度が高い<sup>4)</sup>という点にあるとの指摘がある。また、2011年バレーボール学会のシンポジウム報告では、女性アスリートは男性アスリートに比べて非常に細かいところまで教えないことや、ティーチングからコーチングに移行するまでの期間が長いこと、受容感を求める傾向が高いためより多くのコミュニケーションが必要であるとの言及がみられる。

【考察】女性指導者を対象としたこれまでの研究の多くは、人数や割合を増加させることを前提としていた。しかしながら、アスリートを育成する上では、その数を増やす方策を検討するだけでなく、女性指導者の在り方を明らかにすることで指導環境の向上に繋がると考えられる。メンターとプロテジェの研究で示されているように、ヘッドコーチとアシスタントコーチの関係において、性別と態度の類似性が高いほどメンタリング量に肯定的な影響があることが明らかになっている。この見解から、指導者とアスリートの関係においても、性別と態度の類似性がメンタリング量に肯定的な影響を与えると推察される。さらに女性アスリートを指導する際には、チーム力やコーチングの方法などにおける特徴を踏まえて指導する必要があるだろう。これらの点から、男性指導者・女性指導者ともに女性アスリートの特徴を理解すること、また性別と態度の類似性を意識して指導に臨むことが有効であること、を導き出すことができる。

【結論】女性アスリートと指導者については、両者の性別や態度の類似性・差異性により、指導上の観点が異なると考えられる。

### 【文献】

- 1) Nicole M. LaVoi: women in coaching, Routledge, USA, 2016.
- 2) Derek R. Avery: Similarity on Sports Sidelines : How Mentor Protégé Sex Similarity Affects Mentoring, Sex Roles, 58:72-80, 2008.
- 3) Ian Reade: The Under-Representation of Women in Coaching : A comparison of Male and Female Canadian Coaches at Low and High Levels of Coaching, International Journal of Sports Science & Coaching, 4, 505-519, 2009.
- 4) 池田志織: 心理的側面からみたチーム力の一考察 : 大学ボールゲームチームを対象として, スポーツ科学研究, 1, 49-58, 2018.